



メンテナンスがお役に立ちます！！

～削る治療を減らしたい～

子供の頃に削って詰めた歯がいつしか傷んでクラウンになり、その後、噛む力で疲労して折れた・・・というような経験ありませんか？じつは歯は削って歯質が少なくなるほど、噛む力に対する耐久性が弱くなっていき、治療のやり替えも増えてしまうのです。そうならないためには、まずは治療の連鎖の原因になりやすい『歯の詰め物』を減らす事が先決なのです。

一生健康を分ける20歳までの歯の健康

小学生の虫歯の数が減っているにもかかわらず、中高生になると途端にはじまる詰め物の増加。これをいかに減らすかは私たちの重要課題です。生えて間もない中高生の奥歯は柔らかく虫歯のリスクが高い危険な年頃。部活や受験勉強で忙しいこの時期を詰め物せずに切り抜けられると、虫歯で苦労しない人生がまっています。

削って治療した歯は？

虫歯を削って詰めると、ひとまず痛みは止まりますが歯はもとどおりに治るわけではありません。削って歯質の減った歯は、噛む力に対する耐久性が弱くなります。小さな詰め物をきっかけに歯が傷みやすくなり、大きめの詰め物(インレー)に、さらにクラウンに、そしてクラウンを支える歯根が疲労し抜歯に、というマイナスの連鎖(デス・スパイラル)へと一歩踏み込んでしまうのです。

予防中心の歯科医療へ

予防歯学の進化により歯質を残すことの大切さが明らかになった現在、歯科ではデス・スパイラルのそもそものきっかけになる、『削る治療を減らそう』、と考えるようになりました。ただし、これを実現するには患者様の協力が欠かせません。来院したとき、すでに穴が開いてしまっている虫歯を治療するには、歯を削り詰め物をするしか方法はないからです。

メンテナンスをはじめよう！

健全な歯質を守って削らずに維持するため、現在歯科医院では、歯科のプロによる歯の健康管理を定期的に受けていただくよう、患者様にご提案をしています。特に、小学生～20歳頃までの虫歯になりやすい時期にプロの管理を受けながら詰め物を減らして、なるべく歯を削らずに乗り切ると、たいがいの方はその後歯で悩む人生を送らずに済みます。今回の来院を機に、定期的なメンテナンスをはじめてみませんか？

治療の連鎖に踏み込まないため、治療の連鎖をくい止めるため、定期的にメンテナンスに通い健診 & 予防処置を受けましょう！！